

匠の技術にふれたくて知っているようで知らないものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

ネ工業株式会社・豊岡神美台工場

ばね1本からオーダーメイド こだわりのばね職人

経験と勘がモノをいうばね製作
微妙なズレを手で調整する職人の技
匠の技術を次の世代へ伝承していく



コイルばねの間隔調整を行う梶川さん。目の前には「ハシ」と呼ばれる道具がずらりと並び、それぞれの形態に合わせて使い分ける。ばねの特性を決める重要な作業で、自分の手に合うものと道具はすべて手作り。様々なばねを作る内に、「ハシ」の数も増えていったという。



ばねの元となる巻き取り作業。特性に合わせた微妙な調整が要求される。



ミュージアム工場「啓匠館」。外観の煉瓦は、一つ一つが煉瓦積み職人による手積み。内部の壁面は、左官職人によって漆喰塗りで仕上げられていて、建物からも職人の息吹を感じることができる。

DATA

■東海バネ工業株式会社 豊岡神美台工場
豊岡市神美台157-21 TEL.0796-29-5730
あらゆる材質・寸法・形状の高品質・高機能のばねを、フルオーダーメイドで作っている。
<http://www.tokaibane.com/>

煉瓦積みのレトロな外観が目を引き、ミュージアム工場「啓匠館」。東海バネ工業株式会社・豊岡神美台工場の新施設として、平成22年にオープンした。「啓」には『教え導く』の意味があり、匠の技術を次の世代へ伝承するという想いが込められている。

昭和9年創業の東海バネ工業は、大阪市に本社を持つばねの専門メーカー。一貫してばね製品を作り続けてきた会社で、「完全受注・平均ロット5個の超微量生産」という、業界では極めて特殊な生産体制をとっている。ひと口に「ばね」といっても多種多様。電力プラントのタービン、鉄道車両から人工衛星に搭載される直径3

ミリのばねまで、私たちの目には届かないあらゆる場所で使われている。東海バネ工業では、ばね1本からフルオーダーメイドで対応。「こんなばねが1本だけ欲しい」という声に応えている。技術大国「ニッポン」の躍を担っているといっても過言ではない。

「ばね作りは「にも」にも経験が大切。様々な要望に対してどう作っていくか、勉強の毎日です。頭を抱える難しい注文もあります。想像力を駆使して形にできた時は、何にもかえられない達成感がありますね」とは、案内をしていただいた戸田哲也リーダー。20年のキャリアを誇る職人だが、ばねの世界は奥が深いと話す。

現在「啓匠館」では、主に圧縮・ねじり・引きばねといった小型のばね

を中心に製造。5人の職人が巻き取り、仕上げ、整形、熱処理、検査などの工程に分かれて作業をしている。その中でも最後の微調整を行うのは、45年のキャリアを持つ梶川信行さん。現代の名工にも選ばれている職人で、コマ数ミリ単位でばねの歪みや間隔を、「ハシ」と呼ばれる道具で図面通りに微調整していく。頼れるのは今まで培った経験と体に染み付いた手の感覚だけ。梶川さんの手にかかる時、誰も修正できなかった不具合も見事に調整されていくそう。

「みんなこの仕事に誇りを持ってやっています」と、戸田さん。ばね1本にこだわる職人たちの卓越した技から、モノづくりの真髄を垣間見ることができた。

竹中司法書士事務所

●不動産登記 ●商業・法人登記 ●相続 ●裁判事務



司法書士・行政書士 中田 治子
司法書士 竹中 博司 司法書士 松岡 英樹
TEL. 0796-23-4111
FAX. 0796-23-4161
MAIL. takenasihousyosi@sage.ocn.ne.jp

まかせなはれ!
オーダーメイド



東海バネ工業は
お客様の“困った…”を
解決いたします!!

お寺へいこう。

素材ながらも優れた文化財がたくさんある但馬。近くのお寺にもっと足を運んでみよう！

往時を偲ぶ禅宗様仏殿と自然との調和が美しい大同寺



(左) 開山堂の内部。天井が高く、化粧屋根裏を見せた造りとなっている。
(右) 大同寺では、春は八重紅しだれ桜、夏は蓮の花、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々の景色が楽しめる。モリアオガエルの生息地としても有名。水琴窟もあるのでゆっくりと癒しの音色を楽しむのもいい。後ろに見えるのが開山堂。

今回、編集部が訪ねたお寺は…

03 大同寺 だいどうじ

兵庫県朝来市山東町早田417
TEL.079-676-3328



今回案内をしていただいた木村住職

開山堂まめ知識

★屋根瓦を見てみよう！

山名氏の菩提寺であった大同寺。屋根瓦にも山名氏の家紋である「三ツ引両」となっており、その由緒を物語る。



ONE POINT ADVICE

※見学は自由ですが、くれぐれもマナーを守って鑑賞しましょう。

開山堂に安置されている木造月庵宗光坐像。松の寄木造りで貞享5年(1688)の作。市指定文化財。



朝来市山東町に佇む醫王山 大同寺は、大同2年(807)に建てられた古刹。天台宗として始まったが、南北朝時代に月庵宗光禪師によって禅宗寺院として開山、山名氏の菩提寺となる。応仁の乱の際、夜久野ヶ原の戦いにて堂塔が焼かれ、江戸時代に入ってから臨濟宗妙心寺派の寺院として再興された。

「山門」や「白衣観音図」「古文书」など数多くの文化財を蔵しているが、見どころは県指定重要有形文化財となっている「開山堂」。細部に



市指定文化財となっている山門。切妻屋根をのせた薬医門形式。

100万回の般若心経を東北へ

大同寺では、東日本大震災の犠牲者の追悼と早期復興を願い、般若心経を100万回唱える取り組みを行っている。5月に始め、現在1万6千回。100万回唱えるには10年以上かかるという、多くの参加を得て100万回を目指すことに。「祈りや思いやりの気持ち広がれば」と地域の人に呼びかけている。ぜひ参加してみよう。

至るまで建築当時のまま保存されており、県下でも珍しい江戸中期の唐様を基調とした仏堂遺構だ。いりもや、入母屋造りで棧瓦葺きの屋根、軒下に裳階というひさしをつけた禅宗仏殿形式となっている。

堂内には朝来市指定文化財の「木造月庵宗光坐像」や「観音山出土陶棺」などが安置されている。中に入ると、長い柱が天井までスラッと伸び、格縁を井の字形に組み合わせた「格縁天井」が美しく広がっている。静かに佇み心を落ち着かせると、身体がスッと軽くなるようだ。

また、自然との一体感ももうひとつの魅力でもある。

「大同寺は山に囲まれたお寺なので自然も感じてほしい。春は桜、冬は雪景色など庭の景色も四季折々楽しめますよ」とは木村住職。

静かな境内からは鳥の鳴き声と風の音だけが聞こえてくる。時が経つのも忘れ、ぜひゆっくりと訪れてほしい。



宗教・宗派・国籍不問 永代供養 個人碑・夫婦碑・先祖碑

墓地の承継者のいない方、承継者があってもご都合でお墓の供養ができにくい方、遠隔地でご不便な方、一人でお困りの方のご供養を永代に勤めます。

<大同寺について>

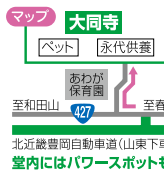
当山は大同2年開創、1200年の歴史があり広大な寺領に桜もみじ、蓮の花などが楽しめる憩いの場となっています。北近畿道、山東インター下車1分の大変便利なお寺ながら清浄な環境にあります。

大同寺Pet霊苑

家族同様に過ごしたペットにも、いつかお別れの日がやって来ます。共に過ごした思い出を大切に、感謝を込め恩返しをしたいものです。「たくさんの癒しをありがとう。どうぞ安らかにやすみ…」そんな思いを込めて、供養いたします。

火葬場、葬儀、納骨壇、合同墓地、合同慰霊祭、個別墓地

(種別) 合同火葬、個別火葬、立会葬、埋骨、納骨、返骨「犬、猫、鳥、小動物、その他」



臨濟宗妙心寺派 医王山 大同寺

0120-506-531

〒669-5122 兵庫県朝来市山東町早田417
TEL.079-676-3328 FAX.079-676-5165
http://daido.or.jp/temple/